

## 特集

### JA錦鯉市場

# 泳ぐ宝石 錦鯉 初せり活気

泳ぐ宝石といわれる錦鯉の取引市場が、南苅頃のJA越後おぢや錦鯉市場で今年もスタートしました。

今号の特集は、県内で唯一の錦鯉取引市場「JA越後おぢや錦鯉市場」の初せりの様子などをご紹介します。



場内には威勢の良いせり人の声が響き渡ります

## 市の魚に制定



震災から10年の節目の昨年10月23日には、中越大震災からの復興の象徴として錦鯉が、小千谷市と長岡市の「市の魚」に制定されました。

### 錦鯉を品定め

4月10日(金)、初せりには、バイヤーや出荷者ら約60人が訪れ、手締めで開場を祝いました。

「舟」と呼ばれるケースで運ばれた錦鯉を次々とせりかけ、場内には威勢の良いせり人の声が響き渡りました。

同市場は、県内で唯一の錦鯉取引市場。当日は、市内外の生産者が181舟(4343匹)を出荷。3月の水温が低く、成長が遅れたことなどから、出荷舟数は

前年の6割にとどまりました。

JAの谷口熊一組合長は「中越大震災復興のシンボルとして、昨年には錦鯉が小千谷市と長岡市の市の魚に制定された。今後の飛躍に期待している」とあいさつしました。

片貝町の錦鯉生産者の須田一隆さんは「国内の需要も高まってくれたらうれしい」と期待を寄せました。今年も、11月27日までの毎週金曜日に市場を開き、計33回を予定しています。





生産者が出荷した錦鯉は、「舟」と呼ばれる青いケースに入れられ、並びます



午後1時から始まるせりに合わせて、午前8時から11時の間に、生産者が次々とビニール袋に入った錦鯉を出荷します



せりが始まると、「番台」と呼ばれるせり人の掛け声のもと、バイヤーに次々と落札されます



市場は2階建てで、2階からも錦鯉が流れる1階の水路が見え、落札することができ



初せりには、テレビ局や新聞社など多くの報道機関が訪れ、生産者（写真）や谷口組合長が記者からインタビューを受けました



**初せり準備  
「舟出し」作業行う**

3月31日（火）には、初せりに向けた市場の準備を行いました。

園芸特産課の職員7人が、錦鯉を入れるための「舟」と呼ばれる青いケース600個を、錦鯉市場の建物2階から手作業で下ろしました。

「舟出し」と呼ばれる、春の訪れを告げる恒例の作業です。

### 平成27年度 JA 錦鯉市場開催日程

競売開始時間は午後1時

4月		10日	17日	24日		8月	7日	休み	21日	28日	
5月	1日	8日	15日	22日	29日	9月	4日	11日	18日	25日	
6月	5日	12日	19日	26日		10月	2日	9日	16日	23日	30日
7月	3日	10日	17日	24日	31日	11月	6日	13日	20日	27日	納会